

除雪費に係る財政支援について

長野県内は、2月に、2週続けて全県で記録的な豪雪となりました。とりわけ、2月14日からの降雪では、軽井沢で99センチメートル、飯田市で81センチメートル等、観測史上最大の積雪を記録するなど、全県で記録的な豪雪となりました。

これにより、県内全ての高速道路、国道18号など主要幹線道路や、地域の生活道路の多くの箇所、長時間に渡る通行止めや交通障害が発生し、多数の集落が各地で孤立するなど、県民生活に大きな影響が及びました。

長野県及び県内市町村では、昼夜にわたる除雪、排雪作業により懸命な復旧を行うとともに、今もなお、圧雪除却や拡幅除雪による安全な交通確保に努めておりますが、平年、降雪が少ない積雪地域でない地域を含む広大な県内の全域において、2週続けての記録的な降雪となったことや、降雪後の低温により凍結した圧雪の除却等、追加作業が必要なことなどから、厳しい財政事情の中であって、除雪費の著しい増加が見込まれております。

つきましては、積雪地以外の地域も含めた全県において、記録的な豪雪となった本年度の極めて特異な状況を御賢察いただき、除排雪経費に対する特段の財政支援を講じていただきますよう、次のとおり要望いたします。

記

- 1 社会資本整備総合交付金の追加措置及び市町村道除排雪費補助の臨時特例措置等の支援措置を速やかに講じられたい
- 2 積雪地以外において、極めて大量の降雪になったことにも配慮し、補助の対象を積雪地以外にも拡大する等、今回の豪雪の実態を反映した、特段の措置を講じられたい

平成26年3月4日

長野県知事 阿部 守一

長野県市長会長 菅谷 昭

長野県町村会長 藤原 忠彦